教科	国語	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価資料
1　広がる学びへ	16	●小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ●小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。（思・判・表C(2)イ） ●説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。 ●説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする ●随筆を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。→登場人物どうしの関係や人物像を図式化して整理している。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。→意見と根拠を区別して捉え、適切な根拠の在り方について理解を深めている。 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 →自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。→相手が自ら行動したいと思えるような言葉や表現を用いることを意識している。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 →古典の文章独特の調子やリズムを意識して音読している。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 →現代語訳や語注を手がかりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。	・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。 →ぐうちゃんの人物像や、登場人物どうしの関係を文章から読み取り、図にまとめている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。→発言者の立場を踏まえ、それぞれの意見と根拠を整理して考えをまとめている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。→重要なことが効果的に伝わるように話の構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。→プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 →作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。	・登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。 ・自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。	・授業観察 ・ノート ・創作作品 ・定期考査 ・ワークブック ・発表 ・ワークシート ・自己評価表
2　多様な視点から	11	●情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ●文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。 ●文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。 ●言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等） ●報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。 ●目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 →文章を構成する六つの部分の関係を図式化して整理している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 →問題1～3に取り組み、情報と情報との関係を図で表している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 →集めた情報を表や図にまとめ、整理している。	・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。→筆者の主張を捉え、それと仮説1～3との関係を理解している。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。→文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。→知りたいことに適した方法を考えて情報を収集し、収集した情報を分類・整理して自分の目的に合うものを取捨選択している。	・積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 ・積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。 ・多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。	
3　言葉と向き合う	9	●抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ●観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。 ●本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。 →情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 →本や文章を読み、さまざまなものの見方・考え方に触れることで、自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。	・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。 →複数の短歌を比較し、歌われた情景や心情、表現とその効果について考えている。 ・「読むこと」において、短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 →好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。 →自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 →言葉に対する筆者の考え方について自	・表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
情報×SDGs	2	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ●情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる ●目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 ●言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる ●情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ●本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかに	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） →メディアが伝える情報の内容とその根拠の適切さに着目している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。（(2)イ） →メディアの特徴を、表や図などにまとめている。	・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 →メディアの特徴を踏まえ、情報の信頼性を判断するために必要なことについてまとめている。	・複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。	
いつも本のそばに	3	●本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ●言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ●本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ●本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したり	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 →活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読んでいきたいかを考えている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 →二つの翻訳やコラムを読んで、本や文章には、さまざまなものの見方や考え方が表れていることを理解している。	・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。 →二つの翻訳を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 →翻訳の違いによる作品の印象の違いについて意見を交流し、考えを広げたり深めたりしている。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。 ・表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	
4　人間のきずな	15	●話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。（知・技(1)オ） ●登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ●本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ●随筆を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする ●社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。	・話や文章の構成や展開について理解を深めている。 →登場人物の言動や伏線に着目し、それらが話の展開にどのように関わっているのかを考えている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 →随筆の味わい方について考え、日常の読書に生かせそうな点をまとめている。	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 →過去と現在、伏線と結末を結び付けて、登場人物の言動の意味を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。 →前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。	・登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。 ・文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
5　論理を捉えて	12	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる ●文章の構成や論理の展開について考えることができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ●伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 ●根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 →筆者の意見（主張）がどのような根拠によって支えられているかを捉えるとともに、より適切な根拠の在り方を理解している。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 →根拠の適切さを吟味する方法を理解して、問題1、2に取り組んでいる。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 →自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。	・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。 →文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論理の展開を吟味している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 →自分の知識や体験と結び付けながら、筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 →段落のまとまりを意識して、自分の意見が明確に伝わるよう文章の構成を決めたり、段落の順序を検討したりしている。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 →根拠として適切な事実と、意見と根拠を無理なく結び付ける「理由づけ」を示し、	・論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 ・粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。	
6　いにしえの心を訪ねる	10	●作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ●現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。 ●言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●漢詩などを読み、引用したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。（(3)ア） →漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。→冒頭部分の現代語訳や、「平家物語」のあらすじを読んで、「無常観」を感じ取っている。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。→「平家物語」の、漢語を巧みに交えた独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。→与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。→古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。→現代語訳や語注などを手がかりにして読み、文章に表れた作者のものの見方、考え方を理	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 →「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 →仁和寺の法師の描き方などを踏まえて、作者のものの見方について考えたことを話し合っている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 →人物像が明確に伝わるように、文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じている。	・進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。	
7　価値を語る	14	●情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ●観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●評論や解説の文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。 ●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 →二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 →複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 →作品中の「冬」を感じさせる言葉に	・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 →文章の構成や表現の特徴などについて、二つの文章を比較して発見したことを話し合っている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 →二つの文章を比較したり、書き方の特徴を捉えたりすることで、筆者が文章を書いた意図や目的についての自分の考えを深めている。	・進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	
8　表現を見つめる	28	●抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ●登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	・作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。 →助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 →メロスや王の言動に着目して、考え方や心情の変化を読み取っている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 →読み深めたことや、文学の読み方に関する知識・経験を生かして作品の魅力を分析し、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。	
書写	20	・姿勢・執筆，用具の扱い，楷書の点画の特徴などを正しく把握している。 ・漢字や仮名の字形や大きさを理解しようとしている。 ・書き初めを書くにあたり、自分の課題を見つけ、練習を重ねている。 ・字形を整えることを意識して書いている。	・楷書の特徴を理解し、止めやはらいに注意して書いている。 ・漢字と仮名の調和を理解して書いている。 ・課題文字の特徴を理解し、筆づかいに注意して書いている。 ・さまざまな筆記用具を使って、用途に合わせた文字を書いている。 ・姿勢・執筆，用具の扱い，楷書の点画の特徴などを正しく把握している。	・字形を整えることを意識して書いている。	・すすんで漢字や仮名の字形や大きさを理解しようとしている。 ・書き初めを書くにあたり、自分の課題を見つけ、粘り強く練習を重ねている。	